



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 日 機 装 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 加 藤 孝 一
(コード番号 6376 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 コーポレート部門長 村 上 雅 治
(TEL. 03-3443-3717)

剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正（ともに増配） に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり 2026 年 6 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正を行うことを決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の決定および期末配当予想の修正について

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026 年 2 月 13 日発表)	前期実績 (2025 年 12 月期)
基 準 日	2026 年 6 月 30 日	同左	2025 年 6 月 30 日
1 株当たりの配当金	30 円 00 銭 (普通配当 30 円 00 銭)	25 円 00 銭 (普通配当 25 円 00 銭)	18 円 00 銭 (普通配当 18 円 00 銭)
配 当 金 総 額	1,966 百万円	—	1,192 百万円
効 力 発 生 日	2026 年 9 月 15 日	—	2025 年 9 月 12 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正の内容

	1 株当たり年間配当金		
	中間期末	期末	合計
前 回 予 想 (2026 年 2 月 13 日発表)	25 円 00 銭	25 円 00 銭	50 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		30 円 00 銭	60 円 00 銭
当 期 実 績	30 円 00 銭		
(ご参考) 前期実績 (2025 年 12 月期)	18 円 00 銭	22 円 00 銭	40 円 00 銭

2. 増配の理由

当社は、財務健全性、資本効率及び株主還元の最適なバランスを追求しつつ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現していくことを基本的な資本政策としています。継続的かつ安定的な利益還元は当社の資本政策の重要な柱であるとの基本認識のもと、業績、経営環境などを総合的に勘案した利益還元を行なっていくとともに、新規事業の育成、生産体制の強化に向け内部留保を適正に再投資に振り向けます。

現在、推進中の中期経営計画『NIKKISO 2028 - Toward a Healthier World』（2026年～2028年）では、収益力の向上を前提とした累進配当を基本方針とし、これまでの増配推移を加速する形で2028年にはDOE（株主資本配当率）2.5%水準を目安として株主還元の強化に取り組んでいます。長期的には、DOE 3%を目安として株主還元の安定的向上を図っていきます。

当中間期末の配当については、当該方針および、2026年8月14日に公表した通期業績予想の修正等を踏まえ、1株当たり配当金を直近の予想25円から5円増額し、30円とします。

また、期末配当予想についても、25円から5円増額し、30円とします。これにより、年間配当金は60円となり、前期（2025年12月期）実績の40円から20円の増配となる予定です。尚、今回の増配により、2026年期末時点のDOEは約2.3%水準となる見込みです。

（参考）

2026年12月期通期の連結業績予想の修正

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2026年2月13日発表)	百万円 233,500	百万円 16,500	百万円 16,500	百万円 13,000	円 銭 199.19
今回修正予想 (B) (2026年8月14日発表)	247,700	19,700	20,000	15,800	241.93
増減額 (B-A)	+14,200	+3,200	+3,500	+2,800	
増減率 (%)	+6.1%	+19.4%	+21.2%	+21.5%	
(ご参考) 前期実績 (2025年12月期)	215,642	15,331	17,255	13,652	206.22

以上